



ただいま、 国際湿地都市 NIIGATA

新潟市の歩み

1996年
佐潟が「ラムサール条約湿地」に登録

2022年
新潟市が「ラムサール条約
湿地都市認証」を受ける



市内の湿地の魅力や
イメージを多くの人に
知ってもらい、水辺の
豊かな自然をもっと身
近に感じてもらえるよ
うに、ロゴマークを作
りました。

ぜひ活用
してください



詳しくは
こちら

問 環境政策課 (☎ 025-226-1359)

ハクチョウ越冬数、 日本一のまち

今年も新潟に帰って来たよ。
潟や川、田んぼなどの
湿地の魅力を、
私たちが一番知っているんだ！



潟や川は心安らぐおうち



田んぼは
お腹も心も満たされる
レストラン

＼知ってる？／ 私たちのこと

Q1

新潟市で多く見られる
ハクチョウの種類は
どちらでしょう？

A



くちばしの
黄色い面積が大きい
オオハクチョウ

体長／約140cm
体重／8～12kg

B



くちばしの
黄色い面積が小さい
コハクチョウ

体長／約120cm
体重／5～7kg

Q2

ハクチョウはどこから
新潟市に渡ってくるでしょう？

- A オーストラリア
- B ロシア
- C インド

Q3

ハクチョウの特徴的な
生態はどれでしょう？

- A 一生同じついで過ごす
- B 草食性で植物のみを食べる
- C 巣を木の上に作る

答えは
2面へ！



1～2 特集 ただいま、 国際湿地都市NIIGATA

- 3 市職員の人事・給与など
- 4 9月議会定例会閉会
- 八区魅力発見
- 令和6年能登半島地震関連情報
- 11/15㊦拉致県民集会
- 5 全国一斉 秋の火災予防運動
- 連載 未来への扉
- アルビレックス新潟の選手と食生活を見直そう！

他3ページは区役所だより
「情報ひろば」は別冊で発行しています